

～ 産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく ～

第22回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (1/2)

令和7年10月14日(火)に、大手前合同庁舎(近畿地方整備局)において、第22回新都市社会技術セミナー(主催:新都市社会技術融合創造研究会)を開催し、Web聴講を含め約70名(委員・発表者・事務局除く)が参加する中、各研究成果の発表が行われました。

■新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三京都大学名誉教授)は、社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として、平成14年度に設置され、産・学・官の連携によって様々な技術研究プロジェクトに取り組んでいます。

■なお、今回のセミナーの講演資料につきましては、新都市社会技術融合創造研究会HPIに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

◆大西委員長開会挨拶(概要)



新都市社会技術セミナーも今回で22回目と長期間続いているが、ひとえに関係者の皆様の協力及び研究成果により、ここまで発展してきたといえる。昨今、関西でもノーベル賞受賞者が輩出されたが、基礎的な研究成果が今になり認められたもの。インフラ整備も同じで、長期間に渡り性能を発揮し続けなければならないため、新都市の基礎的な研究が将来の役に立つことを目指し頑張っているため、今後も協力をお願いします。

◆小林副委員長閉会挨拶(概要)



本研究会は、最新の研究を世の中に活かしたいという想いから始まり今回で22回目となる。今迄のセミナーで研究成果の実装化について繰り返し伝えてきたが今年度より開始する研究を始め、各研究が実装を目指して進めており、意識が根付いてきたと考える。日本社会が変化し続ける中、労働力不足などの問題が、本研究会の成果により役立てることを期待しています。

■第22回新都市技術セミナー講演内容

15:00 ~	開 会
15:10 ~ 新規	① 官民連携による特殊車両通行制度のデジタルトランスフォーメーション プロジェクトリーダー 塩見 康博(立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)
15:25 ~ 継続	② PC 橋の維持管理におけるデジタルツインを用いた構造的な性能の評価に関する研究 プロジェクトリーダー 三木 朋広(神戸大学大学院 工学研究科 教授)
15:40 ~ 継続	③ 公的交通情報と民間交通情報の融合による異常気象発生時等における交通状況推定及び対策に関する研究 プロジェクトリーダー 大西 正光(京都大学大学院 工学研究科 教授)
15:55 ~ 継続	④ 再生骨材を利用した中温化アスファルト混合物の社会実装に向けた、現状課題の抽出から対応策の検討、実大載荷試験に舗装の耐久性評価に至るまでの総合的研究 プロジェクトリーダー 山本 貴士(京都大学経営管理大学院 教授)
16:10 ~ 継続	⑤ 道路地下埋設物の三次元データ取得方法の検討およびその施工・維持管理における利活用に関する研究 プロジェクトリーダー 小山 倫史(関西大学 社会安全学部 教授)
16:25 ~ 継続	⑥ PC 橋の健全性に関する評価手法の総合的研究および維持管理における有効性の提案 プロジェクトリーダー 杉浦 邦征(京都大学大学院 地球環境学 客員教授)
16:40 ~ 完了	⑦ 鋼橋の点検並びに損傷の調査手法の高度化に関する研究 プロジェクトリーダー 石川 敏之(関西大学 環境都市工学部 教授)
17:10 ~	閉 会



【セミナーの聴講状況】



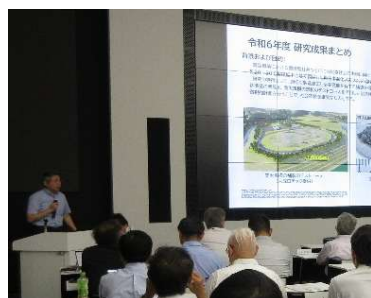
【塩見教授の講演状況】



【三木教授の講演状況】



【大西教授の講演状況】



【山本教授(代理)の講演状況】
※代理発表(京都大学 瀬尾教授)



【小山教授の講演状況】



【杉浦教授の講演状況】



【石川教授(代理)の講演状況】
※代理発表(橋守支援センター 坂野理事長)

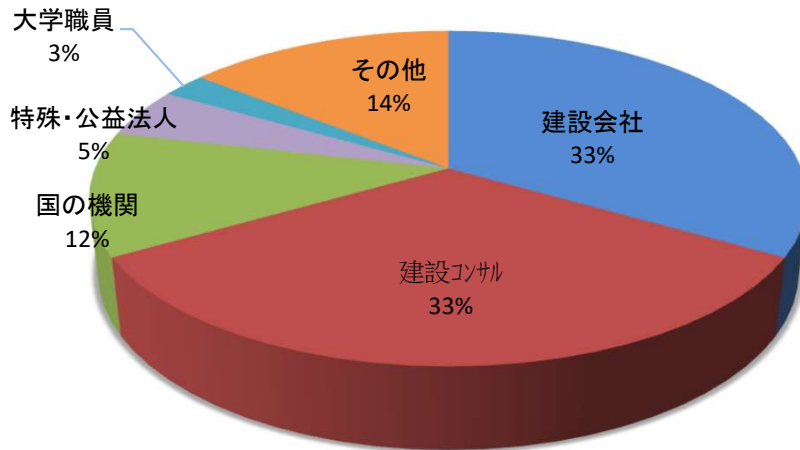
産・学・官の連携で都市と地域の未来をひらく

第22回 新都市社会技術セミナー 開催報告（2／2）

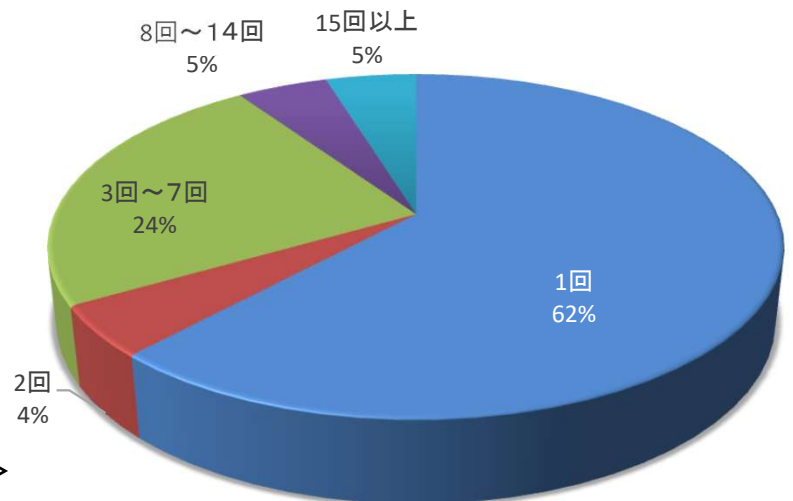
聴講者アンケート結果

新都市社会技術融合創造研究会では、研究会発展のため、聴講者に対し、本セミナーに関するアンケートへの協力をお願いし、聴講者のうち、42名にご協力いただくことができました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

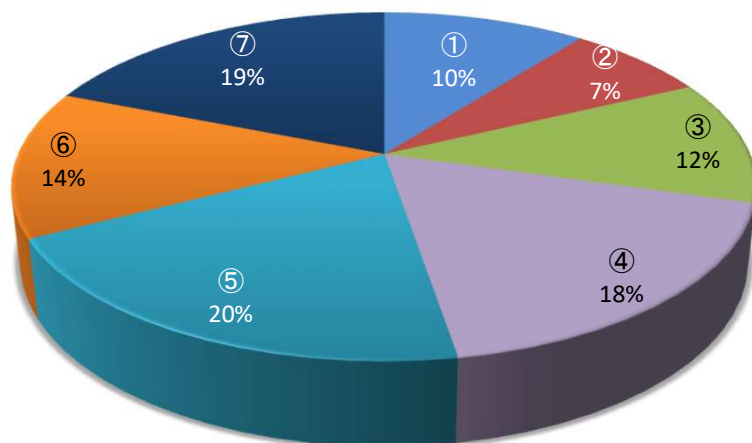
<1. 聴講者の所属>



<2. セミナーへの参加回数>



<3. 興味があったプロジェクト>



- ① 官民連携による特殊車両通行制度のデジタルトランスフォーメーション
- ② PC橋の維持管理におけるデジタルツインを用いた構造性能の評価に関する研究
- ③ 公的交通情報と民間交通情報の融合による異常気象発生時等における交通状況推定及び対策に関する研究
- ④ 再生骨材を利用した中温化アスファルト混合物の社会実装に向けた、現状課題の抽出から対応策の検討、実大載荷試験に舗装の耐久性評価に至るまでの総合的研究
- ⑤ 道路地下埋設物の三次元データ取得方法の検討およびその施工・維持管理における利活用に関する研究
- ⑥ PC橋の健全性に関する評価手法の総合的研究および維持管理における有効性の提案
- ⑦ 鋼橋の点検並びに損傷の調査手法の高度化に関する研究

<4. その他の意見>

○良かった点

- ・現場に即した構造物を対象にして、研究開発（社会実装）を行うことは、近畿ならではの良い試みと思いました。
- ・後部席に配慮してモニターが設置されていたので、説明パネルが見やすかった。
- ・過去の研究内容がHPで確認できると紹介していたので閲覧してみたが、過去の研究が沢山掲載されており参考になった。
- ・新都市研究会が20年以上も継続していることに驚いた。冒頭で基礎研究の大事さをコメントされていたが、是非今後もこの試みを続けて欲しい。

○改善すべき点

- ・もう少し詳細を聴講したかった（個々の発表時間をもう少し長くしてほしい）。
- ・前半の発表時間が短かった。もう少し発表時間を取り、ゆっくりと説明してもらいたかった。
- ・申込時に返信が無く、先着順で受付されたのか不明であった。